



カルガリー大学医学部

Cumming School of Medicine, University of Calgary



- 学部学生（医学部） 22,800人（500人） ●大学院生（医学部） 5,640人（900人）
 - 医学部教職員 800人 ●留学生（全学） 約900人
- ホームページ <http://cumming.ucalgary.ca/>

交流協定締結年月日：1989年7月31日 主管学部：医学部



国際交流の特色

カルガリー大学医学部は、1970年の開学以来、医学教育・研究の面で急速に国際的なリーダーとなってきた。患者を中心に据えた科目横断的な医学プログラムは国際的に高い評判を得ており、次世代をリードする医師および医学研究者を輩出している。設立当初より国際貢献に積極的で、多数の交流プログラムを展開している。1989年より本学医学部医学科との交流が開始され、教員、学生の派遣・受入れなど、幅広い活動を継続して行っている。またこの交流が契機となって、三木町とカルガリー郊外のディズベリー町との交流が始まり大学の国際交流が地域ぐるみで進んでいる。全学Study abroad語学研修プログラムも始まっている。

交流実績（令和2年度～令和4年度）

年度	R2	R3	R4
受入・派遣			
学生の受入	0	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	0	0	0
研究者・職員の派遣	0	0	0
オンライン交流参加者（本学）	0	0	0
オンライン交流参加者（相手機関）	0	0	0



教員からの声

カルガリー大学医学部は近年、その名称をCumming School of Medicineに変更しています。香川大学医学部は、1989年にカルガリー大学医学部と交流協定を締結して以来、積極的かつ継続的な活動を行ってきました。以前は医学科から最大8名の学生を派遣していましたが、先方の学生交流ポリシーの変更以来、研究面での交流に軸足を移しています。例えば、令和元年度においても、医学部・自律機能生理学のチームが、カルガリー大学薬理学Hollenberg教授とのプロテイナーゼ活性化型受容体の血管生理学病態生理学に関する共同研究を継続して実施しています。また平成25年度から、全学の学生を対象とした夏休みや春休みに語学研修を行うStudy abroadプログラムがスタートしていますが、医学部学生のカリキュラムと合わない所があるため、残念ながら令和元年度までは参加希望者が無く、それ以降もコロナ禍によって派遣実績がありません。

そこで、交流全体についての見直しを行うとともに、教育と研究、地域貢献を総合的に展開すべく、体制の立て直しを図っています。特に、カルガリー市やアルバータ州、そしてディズベリー町の企業などとも連携をしていく予定です。研究交流の活性化も課題となっています。

令和4年度医学部国際交流委員会委員長・教授 和田健司

学生からの声

●カルガリーで授業を受けることで、今までの知識をより深めることもでき、将来のことも真剣に考え始めた時期に向こうの学生と交流し、刺激をうけたことで自分のモチベーションも大いに上がり、日本ではできない経験をする事ができました。向こうでの勉強も、出会った仲間も、雄大な自然も、どれもいい思い出となりました。

●カルガリー留学では、日本にいては決して味わえない、様々なことを体験し、学ぶ事ができました。僕の今後の人生において大きな財産になることと思います。このような経験をさせる機会を与えてくださった、諸先生方には心から感謝申し上げます。

過去のカルガリー大学への派遣学生